



訪問看護の小部屋

会員のみなさま、日頃より協議会の事業にご理解ご協力頂き、誠にありがとうございます。

私達広報委員会では、訪問看護に関する様々なPR活動を企画・運営し、訪問看護を取り巻く環境の向上に取り組んでおります。その一環として協議会ホームページに訪問看護に関するコラム企画、題して「[訪問看護の小部屋](#)」を立ちあげました。

訪問看護の小部屋では現場でのちょっとしたお役立ち情報から、今更聞けないこんなことや現場の声・・・などなど、時にはコミカルに、時には真剣に情報をお届けしたいと考えています。

皆様を悩ませている、人員不足・・・。辛いですね、猫の手も借りたいですよ！

そこで今回は、人員確保のために少しでもお役に立てればと、話題の『新卒ナース受け入れ』に関して取り上げてみました。

今回アンケートにご協力頂いたのは、神奈川県内で新卒ナース受け入れを行っている、2か所の訪問看護ステーションです。

Q1 どんな年代の方を受け入れたのですか？ ひとり立ちまで、どれくらいの期間がかかりましたか？

40代後半女性（社会経験有）
ひとり立ちまで一年くらいかかりました



A管理者さん

20代半ば男性（社会経験なし）
40歳代女性（社会経験あり）
ひとり立ちまでおよそ1.5年です



B管理者さん

Q2 どんな風に、看護技術の習得を勧めたのでしょうか？

A管理者

さん



病院と連携し、入職2か月は病棟勤務とした

基本的な看護技術を学んできてもらった

その後4か月まではベテラン看護師と同行訪問

B管理者

さん



様々なケースを選んで同行訪問

当ステーションにおけるチェックリストを使用

研修委員がフォロー研修を実施

外部研修も活用

Q3 新卒ナースを受け入れたきっかけは？



B管理者さん

離職率が高く、長く働いてくれる
スタッフが来ない
だったら新卒から育て、長く働い
てもらいたいと思った。
上司から熱心なアプローチが
あった



A管理者さん

これからの時代背景を考えると、
在宅で看護師が果たす役割はま
すます重要になる、だから最初
から役割を明確にして育てたいと
思った
看護の本質は同じだが、ケアを
提供する場の違いを理解する必
要性を感じた

Q4 新卒ナースを受け入れてよかったこと、工夫した点、苦労した点はありますか？

少しずつ、独りでの訪問が増えるに従って、他スタッフへのしわよせがなくなっていました。

希望をもって入職するものの、2か月くらいで「本当にこれでよかったのか？」

「病棟新卒看護師とのスキルの差を、どう埋めたらいいのか？」などの焦りから、モチベーションが下がって困ってしまいました。



A管理者さん



B管理者さん

- 良かったこと→まじめで一生懸命に取り組む姿勢をみて、同行訪問した既卒看護師は新たな学びを得ることが出来ました
- 工夫した点→1年間eラーニングを学んでもらいました。月一回勉強会を開催し、実務研修にも参加してもらいました。
- 悩んだこと→慣れてくると自分の考えや判断で行動してしまい、独りで訪問させることにデメリットが生じました。報連相が不十分でした。

Q5 新卒で入職した看護師さんへ
どうして訪問看護を選んだのですか？

自分自身も家族の介護を経験し、訪問看護の必要性を痛感したので





- ・学校に勧められた
- ・病院に向かないと言われた
- ・夜勤がないから
- ・老人が好き

Q6 その他

..人件費について..

独り立ちするまで、他スタッフに頑張ってもらおうよう周知した
収益に関しては、赤字にならなければ良しと考えた



いかがでしたでしょうか。

このコラムが少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

次回は12月頃「訪問看護・あるある(仮定)」アップ予定です。取り上げてほしいテーマがございましたら、トップページから、協議会へのお問い合わせフォームにご入力ください！

(お問い合わせ内容に、小部屋とご入力お願い致します)

